

授業科目(ナンバリング)	卒業研究(IC499)			担当教員	健康栄養学科 専任教員		
展開方法	演習	単位数	4単位	開講年次・時期	4年・通年	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
<p>大学入学以来、修得した多くの基礎・専門知識を基本として各領域における研究活動を行う。また、自ら考える自主性、行動力、思考力を持って問題解決にあたり、総合的判断力を養うことで自己能力の開発・向上を目的とする。各教員から提示された研究テーマを自分の進路や適性などを考慮して選択し、指導教員のもとで研究に従事する。研究内容は公開で発表を行い、さらに卒業論文を作成し提出する。</p>							① ② ④ ⑥ ⑨ ⑩ ⑫
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標			評価手段・方法		評価比率	
専門力	修得した基礎・専門知識および技術を再確認しながら、研究を実施し、結果をまとめることができる。			<ul style="list-style-type: none"> ・受講者の発表(プレゼン) ・自主学習・取り組み 		20% 20%	
情報収集、分析力	研究結果の検討・考察のために必要な情報収集ができる。必要な実験機器類、パソコン、統計・解析ソフトなどを使用することができる。			<ul style="list-style-type: none"> ・受講者の発表(プレゼン) ・自主学習・取り組み 		10% 5%	
コミュニケーション力	研究テーマにそった実験、調査などを自主的に考え行動に移し、問題解決に向け総合的な判断ができる。			<ul style="list-style-type: none"> ・自主学習・取り組み 		15%	
協働・課題解決力	実施した研究をわかりやすい発表や論文にまとめることができる。			<ul style="list-style-type: none"> ・受講者の発表(プレゼン) ・自主学習・取り組み 		10% 5%	
多様性理解力	研究テーマに主体的、計画的、意欲的に取り組むことができ、研究する過程で発生する諸課題・問題を専門領域も含め他領域の知識・技術でまとめることができる。			<ul style="list-style-type: none"> ・受講者の発表(プレゼン) ・自主学習・取り組み 		10% 5%	
出 席				受験要件			
合 計				100%			
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<ul style="list-style-type: none"> ・研究テーマに対する自主学習・取り組み(50%)、発表(50%)で、総合的に評価する。 ・自主学習・取り組みは、研究テーマの遂行に対する姿勢や参画の状況をもとに評価する。 ・発表(プレゼンテーション)は、研究テーマのまとめ方、発表準備に対する姿勢や参画の状況をもとに評価する。 ・自主学習及び発表については、提出された成果物(卒業論文)を個別にフィードバックするので確認すること。 							
授業の概要							
<ul style="list-style-type: none"> ・各指導教員の指導の下で、研究テーマに則した基礎・専門知識の復習・再確認を行いながら、実験、調査を実施する。さらに、実験、調査結果について総合的にディスカッションを行い、研究発表、卒業論文としてまとめを行う。 ・この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分である。 							
教科書・参考書							
教科書：指導教員により適時に指示・指定する。 参考書：指導教員により適時に指示・指定する。 指定図書：指導教員により適時に指示・指定する。							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>卒業研究は、大学生生活集大成の場でもあり、大学を巣立って社会人になっていくための「通過儀礼」である。自分自身で研究テーマを選択し、その研究テーマを実行できる基礎・専門知識の復習・再確認を行い、卒業研究に臨むことを期待する。また、就職活動や進学、管理栄養士国家試験のための勉強などで時間を割かれることが予想され、心身ともに大変な1年間となると思われるが、大学生の本分である「研究」を疎かにすることなく、自分自身にしかできない研究成果を挙げて、しっかりした卒業論文が残せることを期待する。</p>							

教 員	研 究 テ ー マ	予 習 ・ 復 習
野村 秀一	・食品およびヒト由来の薬剤耐性菌に関する研究	研究分野関連の文献講読や情報収集等の準備、調査、実験ほか
熊井 まどか	・母体の栄養制限が胎児に及ぼす影響に関する研究 ・胎生期の性ホルモンの影響に関する研究	研究分野関連の文献講読や情報収集等の準備、調査、実験ほか
古賀 貴子	・摂食・嚥下機能に対応した食事のテクスチャーに関する研究 ・大量調理における食品の調理特性(調理科学的変化)に関する研究	研究分野関連の文献講読や情報収集等の準備、調査、実験ほか
廣田 昌彦	・文化・芸術の中の栄養生物学側面(栄養文化学)に関する研究 ・ヒト細胞社会における人間社会学的側面(細胞社会学)に関する研究	研究分野関連の文献講読や情報収集等の準備、調査、実験ほか
林 俊介	・フェニルケトン尿症患児と家族への栄養教育と食事療養の実践に関する研究 ・腎臓病患者(主に血液透析、腎移植)における病態と栄養管理、生活の質(QOL)に関する研究	研究分野関連の文献講読や情報収集等の準備、調査、実験ほか
松尾 嘉代子	・食物アレルギー児の食支援に関する研究 ・乳幼児期における効果的な栄養教育に関する研究	研究分野関連の文献講読や情報収集等の準備、調査、実験ほか
山口 留美	・高齢者の食事摂取状況と身体状況に関する研究	研究分野関連の文献講読や情報収集等の準備、調査、実験ほか
小田 和人	・競技選手の身体活動及び栄養素等摂取が体格やパフォーマンス等に与える効果に関する研究	研究分野関連の文献講読や情報収集等の準備、調査、実験ほか
川内 美樹	・酒粕の2型糖尿病モデルマウスに対する効果の検証 ・がんの進行及びカヘキシアの発症に対するグレリンの効果	研究分野関連の文献講読や情報収集等の準備、調査、実験ほか
川野 香織	・乳幼児期における効果的な栄養教育に関する研究 ・災害時における食生活支援に関する研究	研究分野関連の文献講読や情報収集等の準備、調査、実験ほか
高江洲 有沙	・教育現場における食育指導方法に関する研究	研究分野関連の文献講読や情報収集等の準備、調査、実験ほか
藤井 俊輔	・食品および薬用植物中の機能性関与成分の免疫化学的分析手法の確立 ・オートファジー制御を介した疾病予防および、未病改善に関する研究	研究分野関連の文献講読や情報収集等の準備、調査、実験ほか
宮原 恵子	・食生活と環境問題に関する研究	研究分野関連の文献講読や情報収集等の準備、調査、実験ほか
吉村 亮二	・分岐鎖アミノ酸の生理機能	研究分野関連の文献講読や情報収集等の準備、調査、実験ほか

注) 提示している研究テーマは代表的なものである。詳細な研究テーマについては、事前に卒業研究について各教員が説明する。その後、学生の希望をもとに配属する教員を決定する。なお、配属決定の際、若干の人数調整がなされる場合がある。